

(取りまとめ機関・参加者共通)

日本のひなた宮崎 障スポ(第 26 回全国障害者スポーツ大会)リハーサル大会
個人競技参加申込みに当たっての注意事項

1 競技規則

当大会は、令和9年4月1日より適用の全国障害者スポーツ大会競技規則および、別に定める日本のひなた宮崎 障スポ(第 26 回全国障害者スポーツ大会)リハーサル大会実施要綱、同競技実施要項、同大会競技別実施要領を適用します。

2 参加資格

次の条件を満たしていることとします。

- (1) 令和9年4月1日現在、13歳以上の者(平成 26(2014)年4月1日以前に生まれた者)
- (2) 身体障害者は、身体障害者手帳の交付を受けている者。ただし、内部障がい得手帳を所持している者は、ぼうこう・直腸機能障害の者に限る。
知的障害者は、療育手帳の交付を受けている者、あるいは、取得対象に準ずる障害のある者。
精神障害者は、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている者、あるいは、取得対象に準ずる障害のある者。
- (3) 申込時に宮崎県内に現住所を有する者、または県内に所在する施設や学校等に入所、通所または通学している者。
ただし、水泳、アーチェリーについては、以下のとおりとする。

競技名	参加可能な範囲
水泳	九州7県(福岡、佐賀、長崎、大分、熊本、鹿児島、沖縄)
アーチェリー	

3 出場制限

- (1) 選手は1人1競技にのみ出場できます(各競技の条件は表1のとおり)。

(表1)

競技名	対象障がい種別	条 件
陸上競技	身体障がい、知的障がい	1種目まで出場できます。 (リレー種目に出場する場合は2種目以内)
水泳	身体障がい(内部障がいを除く) 知的障がい	2種目まで出場できます。 (リレー種目に出場する場合は3種目以内)
アーチェリー	身体障がい(視覚障がいを除く)	リカーブ部門とコンパウンド部門のいずれか1種目に出場できます。
卓球(STT 含む)	身体障がい(内部障がいを除く) 知的障がい、精神障がい	
フライングディスク	身体障がい、知的障がい	アキュラシーとディスタンスのそれぞれに出場できます。
ボッチャ	身体障がい	
ボウリング	知的障がい	

- (2) 年齢(令和 9 年 4 月 1 日現在)を次の区分に分けて競技するものとする。対象競技は、陸上競技、水泳、卓球(身体・知的)、フライングディスク、ボウリングとする。

1 部(19 歳以下)

2 部(20～39 歳)

3 部(40～59 歳)

4 部(60 歳以上)

- (3) 当大会への出場は、参加申込の内容に基づき行われる資格審査を経て決定されますので、参加申込書の提出をもって当大会への出場が確定するわけではありません。

4 介助者・伴走者について

- (1) 競技場内へは、選手、競技役員等運営スタッフ他あらかじめ許可された者以外立ち入りはできません。
- (2) 介助者・伴走者が必要な場合は、参加申込書の特記事項記入欄に記入してください。
- (3) 介助者・伴走者の参加が認められた場合には、主催者が交付する「許可証(ビブス)」を着用し、競技役員の指示に従っていただきます。

【参考】介助者の入場申請の対象となる障害区分

競 技 名 等		障 害 区 分
陸上競技		7、11、17、18、19（場合によっては12、21、22）
水泳	①スタート介助	・身体的理由により、壁をつかむことができず、かつ、身体の一部を壁につけることができない競技者 ・安全にスタート台の上等に立つまたは座ること、およびそれまでの移動が困難な競技者
	②移動介助	安全に招集所から自レーンまで移動することが困難な競技者
	③タッピング	17、18
	④入退水介助	安全に入退水することが困難な競技者
	⑤情緒不安定	20、21および同等の障がい重複する者(他の競技者に迷惑をかける場合に限る)
	⑥種目の指示	20、21および同等の障がい重複する者(泳ぐ種目・距離を理解できない場合に限る)
アーチェリー		1

5 その他

- (1) 申込み締切り後の種目および選手の変更は原則できません。
- (2) 令和9年2月のプログラム編成において、出場種目・競技プログラムを決定します。
- (3) 番号布(ゼッケン)は主催者(実行委員会事務局)が用意し、取りまとめ機関に送付します。
- (4) 当大会の競技記録は、第26回全国障害者スポーツ大会「日本のひなた宮崎 障スポ」の宮崎県代表選手選考の参考記録となります。
- (5) 当日の宿泊および輸送の斡旋はありませんので、各自で手配をお願いします。
- (6) 大会中は主催者において、選手を対象に傷害保険に加入します。